

## 東中生へ！学校再開に向けて「校長メッセージ」

新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休業も5月末で終了し、いよいよ6月1日から学校が再開されることになりました。

この休業中、自宅でがまんをし、しっかりと生活をしてくれた生徒の皆さんに、心から感謝します。苦しい中、ここまで本当によくがんばってくれました。

この休業中には、改めていろいろなことを考えさせられました。これまでの「当たり前であった」ことが、すべて「当たり前でなくなった」ということです。

朝起きて、学校へ行き、授業を受けて、友達と談笑して、みんなで話しながら給食を食べ、元気に部活動をして帰宅する。自宅では、家族と一緒に食事をし、テレビを見て笑ったり読書をしたり、そしてもちろん自宅学習もする……。

そんな日常が、「いつも通りの生活」と言えなくなってしまいました。

見えないウイルス感染拡大防止のため、日本中で、様々な行事やイベントが中止になりました。まちの中に明かりは消え、日本の経済が心配されます。皆さんにとって、大切な授業や学校行事・部活動・いろいろな大会など、今この時にしか経験できないことがすべて消えていきました……。そのくやしき気持ちは忘れず、また先生方にも話してほしいと思います。

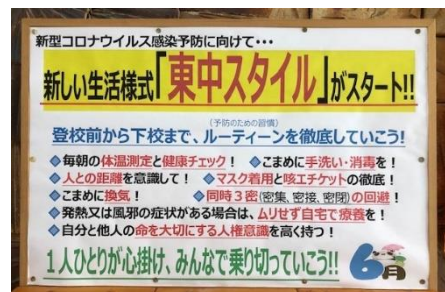
今、私たちの「学校」は、その役割とあり方が、大きく問い直されています。

6月から学校は再開しますが、これからの社会は、残念ながらすぐに元どおりに戻るということはありません。新型コロナウイルス感染症対策をしながら、「共生」していくことが求められます。

国の「新しい生活様式」に示されている「人と人との社会的距離をとる」「マスクをする」「手洗い・消毒をする」といったことを常に意識しなければなりません。そして何より大切なのが、一人ひとりが感染症に対するうわさや思いこみに惑わされることなく、正しい知識を持ち、しっかりと判断・行動することです。

東中では、「新しい東中スタイル」として、みなさんの健康と安全・安心そして人権を第一にして、感染症対策を行いながら、新しい日常生活や授業づくり、自分づくり・仲間づくりをしっかりと進めていきます。

長い休業中も、ここまでがんばってきた東中の生徒の皆さんなら、きっとできるはずです。再び、活気あふれる学校生活や社会生活が行われるよう願っています。



生徒の皆さんと先生方が一緒になって、社会の先に見える「新しい学校づくり」に、ともに取り組んでいきましょう。